

子どもの本だな 25

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

くんちゃんはおおいそがし

ドロシー・マリノ さく まさき りこ やく
(ペンギン社)

ある日、こぐまのくんちゃんは、何もすることがなかったの、お母さんに「何をしたらいい？」と聞いてばかりいました。外で何かすることを見つけなさいと言われてくんちゃんは、家の周りをぐるっと回って、小石や松かさを蹴ってみました。すこし歩くと、船みたいな木切れを見つけたので小川に行き浮かべました。すると川底にきれいな石がいっぱい落ちていたので、全部拾い集めて石の家を作りました。そして今度は…。

落ち葉の山にもぐってうさぎのまね、ほしてあった毛布をテントにして探検家ごっこ。何をしたらいいのかわからなかったくんちゃんが、次々と楽しいことを見つけて夢中になって遊びます。

黒い線画にオレンジ一色だけの素朴な絵。表情豊かに動き回るくんちゃんから楽しい気持ちが伝わってきます。読んでもらえれば3～4歳から。

(池之上)

エーミールと探偵たち

エーリヒ・ケストナー 作 高橋 健二 訳
(岩波書店)

エーミールは、ベルリンに住むおばあさんにお金を届けることになりました。ところが汽車の中で眠っている間に、お金を盗まれてしまいます。同じ車室にいた男が犯人に違いないと考え、追跡を始めました。喫茶店に入った男を見張るエーミールを助けたのはベルリンの男の子たち。タクシーで追いかけて、男の居所を突き止めました。翌朝、ホテルから出てきた男の後を100人の子どもがぞろぞろついていきます。男が危険を感じ、盗んだお金を両替しようとしたとき、エーミールは自分が自分のものである証拠を突き付けました。

犯人に挑む子どもたちの知恵と連携は小気味よく、時折出てくる大人の手助けに心が和みます。最後はお母さんを大喜びさせる結末に大きな満足を感じます。10歳くらいから楽しめます。

(西村)

11月	12月	11・12月の移動図書館(いずれも木曜日です)				
12日	10日	塚森 地域内 10:30～10:50	沖代 地域内 11:00～11:20	福地(三反長) 地域内 14:30～14:50	米田 公会堂 15:00～15:20	竹広南 公民館 15:30～15:50
19日	17日	岩見構下 公民館 10:30～10:50	岩見構上 公会堂 11:00～11:20	原池団地 公民館 15:00～15:20	山田 掲示板前 15:30～15:50	原 太田東地区農村 交流センター 16:00～16:30
26日	24日	広坂 公民館 10:30～10:50	上太田 公民館 11:00～11:20		吉福 公民館 15:30～15:50	太子 ニュータウン 公民館 16:00～16:30

お知らせ

毎週土曜日に
「おはなしの時間」
を開いています
4歳～2年生 11:00から
3年生～中3 11:30から
11月のおはなしは、
「マメジカ カンチルが穴に
落ちる話」「風の神と子ども」
などを予定しています。
詳しくはプログラムをご覧
ください。

『愛しのブロントサウルス』 最新科学で生まれ変わる恐竜たち

ブライアン・スウィーテック 著 桃井 緑美子 訳

白揚社 326頁 2015年8月刊 2,500円 (請求記号) 457.8

子どもの頃に親しんだ恐竜「ブロントサウルス」が、大人になってから手にとった恐竜図鑑には載っていない。なぜだろうと不思議だったが、この本を読んで納得がいった。一八七〇年代、誤認と取り違えによって創りだされたブロントサウルスは、一九〇〇年代になって正式名がアパトサウルスとなり、旧名は消滅してしまっただのだ。恐竜の化石が発掘され始めた初期の頃は、その種や属がどれだけあるかなどは想像もつかなかったのだ。少しでも違う所があれば新種として名前をつけられたのだが、後になって同種とされ、消えてしまう種も多い。

恐竜の成長は思いのほか速い上に、幼体から成熟した大人になるまでかなり体の形が変化するものもいる。例えば、トリケラトプスは、成長するに従って角やフリルの形や大きさが大きく変化するの、12種だったトリケラトプスは最終的には2種にしぼられたという。

また、昔は恐竜の体の色は推測するしかなく、くすんだ緑や土色のうろこで覆われていたのだが、現在では高度な分析方法により、黒い体に白い部分があったり、赤の羽飾りをつけた恐竜がいたこともわかってきた。恐竜の生き残りである鳥類に、色とりどりの種がいることを考えれば、カラフルな体色をした恐竜が存在した可能性は否定できない。研究が進み、恐竜の体色が解明されるのが待ち遠しい。

最近では、恐竜の出していた声、それを聞き取る聴覚やするどい嗅覚にまで研究が進み、恐竜がどんなふう生きていたかが解明されつつある。体に残る病変、骨折、噛み痕などの様々な異変により、「この動物がかつてこの世に生きていたことを際立たせ、傷の一つひとつからその先史時代の出来事の少なくとも概略をたどることができるといって著者の言葉が印象的だ。

かつての恐竜のイメージがどんどん覆され、背中に羽毛が生えたティラノサウルスや、尻尾を持ち上げ、二本足で敏捷に走り回る新しい恐竜の姿が、目の前によみがえる。

(池田)

11月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

<日曜日の絵本の時間>

11月15日

時間：11時から

場所：おはなしの部屋

対象：2～3歳

保護者の方も入れます

カレンダーの×印は休館日です。

開館は10時～18時。

金曜日は20時まで開館しています。

地下水

エンジンオイルの交換前に、稲刈り後の糞摺りと乾燥で埃をかぶった車に、水をかけることにした。洗車は雨に任せているため、積もった汚れが落ちるのに二時間半かかった。視界が明るく、気持ちよくなつたうえに、オイルを交換してもらい、車が出していた苦しそうな音が消え、滑らかに走っているようだ。

十月下旬、学校訪問が始まった。小学校に出かけるときはいつも緊張する。おはなしを忘れてしまわないか、子どもたちは楽しんでくれるか。何度練習をしても不安になると、変な方向に安心を求めようだ。何度も着ている服は、自分が積み重ねてきたものがしみついているが、新しい服は、おはなしも聞いたことがなく、助けにならぬ、だから、学校へは普段よく着ているものを身に着けるべし、と。

まだおはなしも聞かないうちに、「屋根がチーズ？おいしそう。」と輝く顔や、何を見ても笑ってはいけない主人公の約束を忘れ、思わず大声で吹き出してしまふ姿に出会い、毎回、気分も体も軽やかに図書館に帰ることが出来る。私の姿は輝かずとも、このオイル、なかなか効果が大きい。

(竹内)

